

— 議事要旨 —

日時	令和5年11月16日(木) 14:00~
場所	総合福祉保健センター2階 健診室
出席委員	塩谷委員、中井委員、若林委員、武田委員、大隈委員、森本委員、平岩委員
欠席委員	大崎委員、野原委員、坂口委員、小南委員
行政	共生社会部：岸本部長 福祉共生室：鶴室長 健康増進課：吉本課長、上月副課長、関係長、西山、野口 地域福祉課：宮城課長、中井係長 株式会社サーベイリサーチセンター(SRC)：西川主任研究員、山本主任

【次第】

1 開会

- ・事務局開会あいさつ

2 挨拶

- ・会長よりあいさつ

3 協議事項

- (1) 計画素案、第4章の修正点・評価指標について
- ・健康増進計画部分について …資料1 (P. 56~P. 80)

事務局

資料に沿って説明

会長

「適正体重を維持している人の割合の増加」の目標設定の考え方が分かりにくいいため、計算方法についてもう一度説明をお願いしたい。

事務局 (SRC)

基本目標1の(3)ライフコースを踏まえた健康づくりと健康意識の向上で設定している、18~30歳代女性のやせの割合の減少、40~60歳代男性の肥満の割合の減少、低栄養傾向にある高齢者の割合の抑制(BMI20以下)の目標値をすべて達成して、その差分の人が全員適正体重となったと仮定した場合、男女それぞれ適正体重の人が何パーセントになるかを算出して計算している。

会長

今の説明だけでは分かりにくいので、計算方法も含めて根拠資料に掲載してもらいたい。

事務局（SRC）

修正する。

委員

76 ページについて、「1日に1回以上、家族や友人と一緒に食事をする人の割合」の現状値が高いと思ったが、1人暮らしの方だけ回答している内容であればその明記をしてもらいたい。

事務局

国では同居している人がいる方に限った項目としているが、三田市では同居しているかどうかは限らない内容としている。

会長

記載は、「家族や友人」なのか。「知人」ではないのか。

事務局

食育推進計画にあわせて、「家族や友人」としている。

委員

デイサービスでお昼ご飯を食べるのも、1回とカウントするのか。

事務局

「どなたかと一緒に食べる」という考え方であるため、1回とカウントする。

会長

「家族や友人」と限定するともっと少なくなると思う。

事務局

令和3年度の調査結果の数値は確かに高いと思うが、食に関する市民アンケート調査において71.8%となっており、食育推進計画にあわせて目標を設定している。

委員

78 ページの自然に健康になれる環境づくりに目標設定がされている自転車レーンについて、ニュータウンの方でも計画通り進むのか。田舎の方では自転車に乗っている人も多いが、車が通らないと横並びになっていたり、危険な乗り方をしている人をよく見かける。ニュータウンでも自転車専用レーンを作っているのか。滋賀県ではビワイチがあり、県内では淡路島でも整備が進んでいると思う。そういった自転車専用レーンでなければ、車が少ないところで専用レーンを設定しても、逆に危険なのではないか。

事務局

自転車専用レーンを作るとなると、道幅が必要になってくる。市内では、車道の横に青色の矢印が付いていたり、レーン部分を青くして、整備しているところがある。自転車専用レーンは東京オリンピックの際に全国的に整備が進んだものだが、三田市は都市部と農村部で坂道が多く、道路の整備状況も異なることから、一律で進めるのは難しい。県では地域の実情に応じて整備していると聞いている。今回の計画で初めて設定した目標になるので、設定が妥当かどうかも含めて意見をいただきたい。

委員

少しの距離だけ整備するようなことはやめてほしい。実際に活用されないものであったり、広報が少ないのであればもったいない。

事務局

所管課とも相談する。

委員

自転車専用レーンを3km延長したところで、それは自転車専用レーンになるのか。自転車で3kmは短すぎるのではないか。自転車で走る気分になるのか。通勤や通学時に自転車と歩行者を分けるなどしてもらった方が、歩行者も自転車も危なくないと思う。3km程度では健康づくりにはならないのではないか。

委員

武庫川沿いをサイクリングロードにしてはどうか。もしくは青野ダム周辺など。

委員

健康づくりで自転車の3kmは短い。歩行者と自転車が共存しており危ない所が多い。そういうものを区別する方が良いのではないか。

事務局

そういう視点での目標値の設定が可能なのか再度検討する。

会長

78 ページの評価指標については、もう少し考えていただきたい。めざす姿が「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」なので、5kmのウォーキングであればまだ理解できると思う。

ウォーキングコースの整備でも良いのではないか。自転車なら安全に走れるように。一般の方が見たときに、自転車で3kmはどうなのかと疑問に思うところは検討してもらいたい。

委員

道路管理は三田市で実施できるのか。

事務局

生活の安全性を考えた時に歩車を分離することについては、ある程度の道路の幅員がなければ対応できないため、すべてをすぐには実施できない。また、道路幅員が取れない場合、2車線を1車線にするといった整備方法もあるが、そうすると車の渋滞が起きるので、一長一短には進まない。ニュータウンにおいても色々な検討がされているが、生活のしやすさも含めて、自転車が安全に走れることと歩行者が安全に歩けることの両面から検討を進めている。

委員

三ノ宮では2車線を1車線にして、自転車が通っても危なくないように整備されている部分もある。市民の意見も聞きながら進めてもらいたい。

委員

既存道路を分けると道路の幅員が狭くなるので、逆に危なくなると思う。

事務局

一定の道路の幅員が必要なので、どこにでも作れるわけでない。いただいた意見は担当課にもつなげておく。

会長

ウォーキングコースの指標は検討できないか。

事務局

別の部署の所管になるため、入れることが難しい。

委員

武庫川沿いは桜並木もきれいで、コースの中に距離数を書いていると参考になる。大がかりなものでもなくとも、距離数が分かるような案内板の設置などからでも始めてもらえると良いと思う。身近なことから進めてもらいたい。

委員

距離数の表示がされているところもあれば、その表示が消えかかっているところもあるため、きれいにしてもらいたい。

会長

あるものを活用してもらえればと思う。計画の指標については再考してもらいたい。

事務局

指標としては入っていないが、取組としては掲載しているものもあるため、他部署と調整する。

委員

公園に健康器具が置かれているが、器具の説明等があれば良いと思う。

事務局

該当部署にも相談はしている。公園は公的なものと民間のもの両方があるため、調整しながら進めていく。

会長

70 ページに「歯の根元のむし歯」といった書き方がされているが、この内容に問題はな
いか。

委員

問題ない。

会長

用語解説について、用語の解説を載せている部分にアスタリスクを付けるなどしてもら
いたい。

事務局

用語解説を載せているものすべてに付けるとアスタリスクだらけになってしまうため、
その用語が最初に出てきたときに付けるようにする。

また説明の際に漏れていたが、前回の審議会の際に、18～30 歳代のやせの割合の目標値
について、18 歳以上全体や前期高齢者・後期高齢者に分けた方が良いといった意見をいた
だいたが、食育推進計画と同じ目標設定としているので、このままとさせていただく。

- ・自殺対策計画部分について …資料 1 (P. 81～P. 92)

事務局

資料に沿って説明

会長

目標値もクリアになっていると思う。クリアファイルの配布についても、市独自のことを
実施していて良いと思う。資料の一覧の市町以外では実施していないのか。

委員

資料の一覧の中で、書かれていないところは実施していないということか。

事務局

印刷物、紙ベースで作成している市町もあるが、それ以外で何かモノを作っている市町を
記載している。

会長

クリアファイルは中学生全員に配布しているのか。

事務局

公立中学校の全員に配布している。

委員

私立は三田学園だけなので、配布しても良いのではないか。

委員

自殺死亡率の単位は「%」なのか。

事務局

パーセントではない。人口10万人当たりの自殺者数となる。

会長

計画書には説明書きを下に掲載した方が良いと思う。根拠資料の国と県の自殺死亡率も同じか。

事務局

69 ページのような形で追記する。根拠資料については修正する。

委員

89 ページの「中学校で取り組む自殺予防支援事業実施校数」について、目標値が「延べ9校」と書いているのは、公立9校になるのか。

事務局

私立も入れて全部で9校と考えている。

委員

令和5年度にクリアファイルを配布していたが、これは来年度も継続されるのか。

事務局

何らかの形では継続したいと考えている。

委員

小学校での取り組みや、ひとり親家庭に対する取り組みはないか。

事務局

予算の都合もあり、一度にすべては実施できないが、例えば今年度は女性のこととか、高

年齢のこととか、年度ごとに実施していく形になると思う。

委員

中学生に配るのであれば、3年に1回は配らないといけないと思う。

会長

三田市の自殺の状況では若い人に課題があるので、3年に1回、中学校で配布するのはマストにしてもらいたい。

委員

三田市において、小学生での自殺者はいるか。

事務局

今のところはない。

委員

いじめの問題で学校から遠のいている子どももいる。学校には通学するが教室に入らずに保健室にいる子もいる。

・第5章について …資料1 (P.93～P.97)

事務局

資料に沿って説明

委員

計画完成後は公式に発表するのか。きちんと発表してもらわないと、市民には伝わらない。市民に知らせる方法を検討してもらいたい。

事務局

計画が完成したら冊子の印刷を行うとともに、広報にも掲載する。また、記者提供も行う。

この会議の場でも広報・啓発について議論をいただいているので、健康推進員を通じて地域にも伝えていくなど、積極的な情報発信を行う。

委員

地域の広報誌に、計画のワンポイントアドバイスを簡単に載せてはどうか。現在地域で健康推進員として実施している声かけは継続していきたいと思っている。

会長

良い意見をいただいた。89 ページの自殺死亡率の減少については、説明を注釈できちんと掲載すること。また自転車専用レーンの距離については、どこまで取り組めるかは分からないが一度事務局が持ち帰って考えていただきたい。63 ページ、適正体重を維持している

人の割合についての詳細な計算方法を根拠資料に残しておくことといった意見が出たが、計画の最終案については事務局と会長・副会長でまとめさせていただきたい。これ以外にまとめるにあたっての意見等があればお願いしたい。

委員

計画書は一般の人にも見てもらうことになるが、分厚い冊子だと読みにくいと思う。

事務局

本編以外に概要版を作成する予定としている。表題を読めば分かってもらえるようなものを作る予定にしている。8ページ程度の冊子を作る。

委員

計画は長く続くため、会議当初に提案した薬剤フレイルの啓発についても検討してもらいたい。医療費の抑制などで財政にも関わっていく話である。周知・啓発を行ってもらいたい。

委員

栄養・食生活で一番大事なところを担っていると思うため、皆さんにできるだけ周知していけるようにしたい。

委員

会議に参加して色々と勉強させてもらった。地域の中で発信していきたい。

委員

計画の推進となるベースは「人」だと思う。健康増進・自殺対策についてとても参考になった。社会福祉協議会に持ち帰って一緒に取り組んでいきたい。

委員

計画や概要版を作ってもらうこと、また健診を受けた人に対して、治療が必要であるとか生活習慣改善の必要があるとかを説明できるような資料があると、医師会としてもありがたい。

会長

いただいた意見を調整し、今月末に市長に答申をさせていただく。ご協力感謝申し上げます。

4 その他

- ・事務局より、今後のスケジュールについて説明
- ・共生社会部長よりあいさつ

5 閉会